

全国町村議会議長会表彰受賞
 〈地方自治に多大な貢献〉

2月6日(水)に全国町村議会議長会定期総会で自治功労者表彰が行われ、2月25日(月)に清水議長から表彰状の伝達が行われました。

自治功労者表彰は、議会活動を通じて地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを評価された議員が表彰されます。

受賞された方は、次のとおりです。

- 所 登喜雄 議員(15年以上在職)
- 森本 文一前議員(15年以上在職)

受賞おめでとうございます。



▲所 登喜雄 議員



▲森本 文一 前議員

北和中学校体育館竣工式

2月7日(木)、北和中学校体育館(北方)の竣工式が行われ、関係者約60人が出席し、新しい体育館の完成を祝いました。

北和中学校の体育館は、老朽化や耐震性の懸念から建て替えられ、鉄筋コンクリート造2階建て、延べ面積約3300平方メートルで1階に武道場、2階にアリーナが備えられています。

竣工式で宗宮町長は「子どもたちはもちろんのこと、災害時における地域の身近な施設としても利用してほしい。」とあいさつし、北和中学校生徒会長の仲井健人さんは「全校生徒が一丸となり、より進歩した北和中の姿を示した」と決意を述べました。



▲テープカットとくす玉割りで完成を祝いました

きよみず幼児園舎竣工式

2月7日(木)、きよみず幼児園(清水)の新園舎の竣工式が行われ、関係者約50人が出席し、新園舎の完成を祝いました。

きよみず幼児園は、旧園舎から清水小学校のグラウンド西側に場所を替えて新たに建築されました。木造平屋造り約570平方メートルで、建物に使用されている木材の8割以上が県産材です。

竣工式で宗宮町長は「木のぬくもりを存分に感じ、地域の交流拠点になることを願っています。」とあいさつしました。お祝いの鼓隊演奏を披露した園児は「新しい園舎で友だちと仲良く元氣いっぱい遊びます。」と完成に笑顔の花を添えました。



▲完成を祝う鼓隊演奏

バイオリニストが出前授業
 〈谷汲中学校〉

2月9日(土)に谷汲サンサンホールでコンサートを開いた、兵庫芸術文化センター管弦楽団で演奏しているバイオリニストの北島佳奈さんとピアニストの加地美秀子さんが、2月7日(木)〜8日(金)の2日間、谷汲小学校・谷汲中学校・揖斐特別支援学校で出前授業を行いました。

2月8日(金)には、谷汲中学校で演奏を披露。バイオリンの音の出る仕組みなどを解説し、弾き方などを指導しました。

また、生徒の合唱とのコラボレーション(共同制作)を楽しみました。北島さんは「音楽は気持ちや思い出と深くつながる特別なものです。」と生徒に音楽の魅力を伝えました。



▲合唱とバイオリンのコラボレーション

IBIGAWAフリーマロン

〜走りを楽しむ〜

2月10日(日)、揖斐川健康広場(上南方)周辺をコースに、「第26回IBIGAWAフリーマロン」(町体育協会・町教育委員会主催)が開催されました。

近年のランニングブームや健康意識の高まりから今回の参加者は前回を上回り、町内外から約700人のエントリーがありました。

エントリー種目も男女別に一般・中学生・小学生の部と家族全員で一緒にゴールすることが条件のファミリーの部の7部門があり、誰もが楽しめる大会です。

当日は、冬晴れの穏やかなマロン日和で、全員が無事にゴールを果たしました。



▲元気にスタートする参加者

初期消火に貢献

〜大垣消防組合から感謝状〜

2月18日(月)、大垣消防組合消防本部(内田高広組合消防長)から1月に池田町で発生した建物火災で消火に尽力された6人に感謝状が贈られました。そのうちの3人は、建設業に携わる揖斐川町在住の方で、佐々木猛さん(志津山)、大村繁克さん(上南方)、安藤義満さん(小津)です。皆さんは、現場近くで工事中に黒煙に気付き、現場に駆け付け、消火栓からホースを延長して、消防隊が到着するまでに火災をほぼ鎮火させました。

内田消防長は「勇気を振り絞って行動して地域のために尽くしていただいた。」と6人の行動をたたえました。



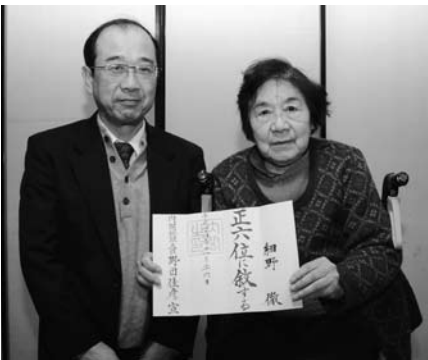
▲感謝状を受けた皆さん

叙位(正六位)受章

11月26日(月)に亡くなられた細野徹さん(三輪)が正六位を受章され、野原教育長よりご家族へ伝達が行われました。

細野さんは、昭和13年4月から昭和56年3月まで、教員として勤められ、その間、カウンセリングについて研修を深め、知的障がいのある児童の学級を担任。その学習内容から、県内の知的障がい児童教育のモデル校として注目されました。また、揖斐郡内の小学校の校長も歴任されました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙位の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙位の伝達が行われました

新しい農園で揖斐の山野草を栽培

〜揖斐特別支援学校農園開墾〜

2月26日(火)、県立揖斐特別支援学校(谷汲深坂)の高等部による「第四農園」の開墾セレモニーが、谷汲名札の農地で行われました。

揖斐特別支援学校高等部は、開校以来、地域の方々の協力を得て、町内3か所の農園で主に野菜などを栽培してきました。今回の農園は、約3000平方メートルで、ヤマウドやフキ、ワラビなどの山野草を栽培します。

高等部2年農園芸班の窪田祥子さんは「地域の皆さんと一緒に揖斐の山野草を育てていきたいです。」とあいさつし、田中航さんが地域住民の方と共に、開墾のくわ入れをしました。



▲開墾セレモニーのくわ入れ

叙勲(瑞宝小綬章)受章

11月14日(水)に亡くなられた高橋正壽さん(北方)が瑞宝小綬章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

高橋さんは、昭和36年4月から平成11年3月まで、主に県内高等学校の教員として勤められ、生徒はもとより、教職員にも夢と希望をもって生活できるような指導・尽力された姿に周囲から厚い信頼を得ていました。平成7年からは、校長の職に就き、長年培った経験を生かした進路指導・学校経営のあり方は、多くの校長の模範となりました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

揖斐川町特別支援教育フォーラム

地域の情報共有で連携強化

3月2日(土)、地域における特別支援教育の情報共有と関係機関の連携強化を目指して、谷汲文化会館で「第5回揖斐川町特別支援教育フォーラム」が行われました。

この日は、医療機関や町内外の支援施設、学校関係者などおよそ100人が参加し、「とぎれのない支援」を実現するために、それぞれの現場における取組や今後の課題などが発表されました。

揖斐川町特別支援教育フォーラム推進委員会の会長で揖斐郡北西部地域医療センター長の吉村学先生は「揖斐川町には、地域に基盤ができています。それぞれの立場でできることを明確にしてより連携を強化していくことが必要です。」と述べられました。



▲関係者による実践発表

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会
揖斐川町実行委員会第5回総会

3月3日(日)、揖斐川町中央公民館大ホールにて「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会揖斐川町実行委員会第5回総会」が開催されました。

総会には、関係機関・各種団体・行政推進員等、約230名の委員が集まり、平成24年度の事業報告や収支決算、実行委員会の解散および会則の廃止が審議され、いずれも承認されました。

また、ソフトボール競技(少年女子)において、民泊にご尽力いただいた各民泊協力会や地域の代表者に対し、実行委員会会長の宗宮町長から感謝状が贈呈されました。

昨年のぎふ清流国体・ぎふ清流大会は、「輝けはばたけ だれもが主役」を合言葉に掲げ、両大会にかかわるすべての方々が夢と感動を分かち合い、盛会のうちに幕を閉じることができました。各競技会場では、多くの町民の皆さんにボランティアとしてご協力いただきました。

町民総参加によるさまざまな「おもてなしの心」を込めた活動を通して、国体に参加した皆さんに感動を与え、揖斐川町の魅力を発信することができました。これは、実行委員会委員の皆さんをはじめ、町民の皆

さん、関係機関および団体の皆さんのお力添えの賜物であり、今回の取り組みが、今後の地域づくりにつながっていくことを期待しています。



▲総会の様子



▲感謝状の贈呈